

肝臓のなかま

第146号 2024年12月
日本肝臓病患者団体協議会 (JHC)
〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-27-5-201
TEL.03-5982-2150 FAX.03-5982-2151
振替 00160-0-399187
口座名 日本肝臓病患者団体協議会
<http://nikkankyoutai.net/>

第34回日肝協全国代表者会議兵庫大会



もくじ

・「第34回日肝協全国代表者会議兵庫大会」報告	1
・『日肝協の今後と各患者会の現況』	3
・日肝協新役員	14
・日本肝臓学会からご挨拶とご講演	15

11月3～4日、兵庫県明石市のホテルで第34回日肝協全国代表者会議と幹事会が開かれました。3日午後、幹事会を開き、代表者会議に提案する活動・会計報告、活動方針・予算案、患者会活動のあり方などについて意見交換しました。同日夜は食事しながら懇親会。参加者全員が一人ひとりマイクを持って自己紹介。『加古川市尾上公民館・健康盆踊りサークル』によって郷土の踊りが披露され、最後の『炭坑節』では参加者たちも輪に入って盛り上がりました。(写真下・記念写真)



●…開会式で来賓の安田正人・厚労省肝炎対策推進室長、国会議員の先生方が挨拶
2日目の4日、本番の代表者会議が開かれました。開会式は野田晃弘常任幹事の司会で始まり、冒頭、渡辺孝代表幹事(写真左)が主催者挨拶。続いて安田正人・厚労省肝炎対策推進室長(写真右)、河原秀和・兵庫県疾病対策課長、西村康稔・元経済産業大臣、山本博司参院議員(公明)、桜井周衆院議員(立憲)の各氏が来賓挨拶。飯島尋子・兵庫医科大学特別招聘教授に『肝疾患診療の現状と今後の対策』をテーマに講演していただきました。



●…活動報告、会計報告、活動方針、予算案、新役員体制などを承認

休憩をはさんで会議に入り、議長に大賀和男・顧問、書記に川原傳治・常任幹事を選出。活動報告を川田義広代表幹事、会計報告を米澤敦子代表幹事が行い、活動方針案を山本宗男代表幹事、予算案を米澤代表幹事、新役員体制案を川田代表幹事が提案、すべて原案通り承認されました。

活動方針では『肝がん・重度肝硬変患者医療費助成制度』の基準緩和、『B型肝炎

ウイルス排除の新薬開発』などを望む声が出され、最後に兵庫アピールを木下真純幹事（兵庫）が読み上げ採択されました。（写真）



●…『日肝協の今後』『各患者会の今後』について討議

午後からは、患者会の解散、会員減少が進む中で患者会の在り方について意見交換。各患者会から実情報告がありました。

『日肝協の今後と各患者会の現況』

全国代表者会議・午後の部『日肝協の在り方・患者会の在り方』について報告と意見交換。

米澤敦子代表幹事(司会)

『日肝協の今後について』の議論が昨日の幹事会でもありました。その問題についてまず川田義広代表幹事から説明があります。

川田義広代表幹事

日肝協の今後についてその論点をお話しさせていただきます。

日肝協新役員

2024年11月4日

前年度			今年度 (新役員)	
地域	名前	役職	名前	役職
北海道	山田 澄子	幹事	山田 澄子	幹事
東北 秋田	石川 長生	幹事	石川 長生	常任幹事
関東 栃木	高村 博	幹事	高村 博	幹事
関東 埼玉	渡辺 孝	代表幹事	渡辺 孝	代表幹事
関東 埼玉	後藤 千代美	幹事		
関東 東京	古川 祥子	幹事	古川 祥子	幹事
関東 東京	野田 晃弘	常任幹事	野田 晃弘	常任幹事
関東 東京	米澤 敦子	代表幹事	米澤 敦子	代表幹事
関東 東京	川田 義広	代表幹事	川田 義広	代表幹事
関東 東京			萩部 義一	幹事
東海甲信越長野	田渕 すみ子	常任幹事	田渕 すみ子	常任幹事
	中島 由紀子	幹事	中島 由紀子	幹事
東海甲信越長野	川原 傳治	常任幹事	川原 傳治	常任幹事
	原井川 英司	常任幹事	原井川 英司	常任幹事
近畿 京都			浅尾 元明	幹事
近畿 大阪	山本 宗男	代表幹事	山本 宗男	代表幹事
近畿 大阪	山崎 喜彦	幹事	山崎 喜彦	常任幹事
近畿 兵庫			木下 真純	幹事
近畿 兵庫			大狼 秀規	幹事
近畿 兵庫			安達 岳範	幹事
近畿 兵庫	藤井裕幸	幹事	藤井 裕幸	常任幹事
近畿 兵庫				
近畿 滋賀				
	村田 充	顧問	村田 充	顧問
	大賀 和男	顧問	大賀 和男	顧問
	山田 光子	会計	山田 光子	会計
	萩部 義一	会計		
	岡田 哲	監査	岡田 哲	監査
	窪田 裕和	監査	窪田 裕和	監査
	東京肝臓友の会	事務局	東京肝臓友の会	事務局

肝炎対策推進協議会委員

前年度まで

山崎 喜彦、後藤 千代美、中島由紀子

今年度から

山崎 喜彦、萩部 義一、木下 真純

検査を受けてください、というのが奈良宣言の趣旨でございます。最近、新しい啓発動画ができましたので紹介したいのですが、ここでは音声が出ないので肝臓学会のホームページを訪ねていただきたいと思います。ご清聴ありがとうございます。



◆編集後記◆

今号は、11月3日、4日に行われた「第34回日肝協代表者会議兵庫大会」の特集号です。今年代表者会議は明石で開催され、全国17患者団体から53名が参加、それぞれの患者会の現状と今後を共有し、前向きで有意義な会になりました。新たに幹事が6名も誕生、徐々にではありますが世代交代が進むのではないかと考えています。新幹事の新しい発想やパワーに乞うご期待!!

日肝協 電話相談

お困りのこと・知りたいこと・なんでも・いつでも・お電話を

 **03-5982-2150**

相談日/火・木・金 10:00~16:00

賛助会員を募集中!!

日肝協は肝臓病の最新治療法などの情報発信や全国各地の患者会の設立、会運営への援助、国会・厚労省などに対して肝炎対策を進めるよう働きかけをしています。それらの活動を進めるため広くご協力を仰ぐべく「賛助会員」を募っています。ご協力をお願いします。

賛助会費 1口 2,000円/年 日肝協会報「肝臓のなかま」を年4回お届けします。申込みは郵便振替で。

口座番号 00160-0-399187 口座名 日本肝臓病患者団体協議会